

## 市立奈良病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床試験を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名	肝門部神経鞘腫の医用画像診断に関する多施設後ろ向き研究
当院の研究責任者	所 属：放射線科 責任者：穴井 洋
他の研究機関および各施設の研究責任者	東京大学医学部 放射線科：阿部修 NTT 東日本関東病院放射線科：仲谷元 埼玉医科大学国際医療センター画像診断科：森阪裕之 昭和大学医学部放射線医学講座：樋口舞香 日本大学医学部放射線医学分野画像診断学部門：戸田悠介 奈良県立医科大学放射線診断・IVR 学講座：國近瑛樹
本研究の目的	各種画像検査が診療に役立つことについて多くの情報が得られてきていますが、今でも偶然に発見される疾患や異常所見は少なくありません。現時点では、有用かどうかはわからない所見が発見されることもあります。また画像検査の機械や解析方法は進歩が続いており、病気の診断や広がりにおいて、これまで以上の診断情報が得られることもあります。本研究では、肝門部神経鞘腫の画像検査の結果を解析し、画像診断に有用な知見を得たいと考えています。
調査データの該当期間	1980年1月1日～2021年3月31日
本研究の対象及び方法 (使用する試料等)	<b>対象となる方:</b> 当院にて、1980年01月01日より2021年03月31日までの間に肝門部神経鞘腫と診断された患者さんで画像検査※を受けた方です。 診療上の必要性から各種画像検査が施行された場合、画像検査データを記録・保存しています。本研究ではこの画像検査データ及び関連する診療情報を使わせていただきます。特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。研究は個人のプライバシーを侵害しないよう個人情報を厳重に保護※しますのでご安心ください。 なお、研究計画書や研究の方法に関する資料を入手・閲覧して、研究内容を詳しくお知りになりたい場合は、末尾の連絡先にお問い合わせください。他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲でご提供させていただきます。 画像検査データ及び関連する診療情報が本研究に用いられることについて患者さんにご了承いただけない場合には研究対象としません。ご了承いただけない場合は、2025年1月22日までに下記のお問い合わせ先までご連絡ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

	<p>ます。尚、あなたへの謝金はございません。</p> <p>研究期間：2021年12月27日～2026年09月16日</p>
<p>試料・情報の 他の機関への提供</p>	<p>あり</p>
<p>個人情報の取り扱い</p>	<p>患者さんの情報・データ等は、解析する前に氏名・住所等の個人情報を削り、代わりに新しく符号をつけ、どなたのものか分からないようにした上で、当研究室において研究責任者が鍵のかかる部屋に置かれた放射線科のみ使用できるパソコンにパスワードをかけた状態で厳重に保管します。必要な場合には、当研究室においてこの符号を元の氏名等に戻す操作を行います。</p> <p>個人情報を削った診療情報・画像検査データは東京大学医学部放射線科、NTT 東日本関東病院、埼玉医科大学国際医療センター、昭和大学医学部附属病院、日本大学医学部附属病院、奈良県立医科大学附病院からも収集されますが、解析は東京大学医学部放射線科でのみ行い、解析終了後のデータは当研究室のみで保管します。当院の患者さんの診療情報・画像研究データは東京大学医学部放射線科以外の、NTT 東日本関東病院、埼玉医科大学国際医療センター、昭和大学医学部附属病院、日本大学医学部附属病院、奈良県立医科大学附病院を含む院外施設には提供いたしません。</p> <p>研究の成果は、あなたの氏名等の個人情報が明らかにならないようにした上で、学会発表や学術雑誌で公表します。</p> <p>収集した試料や情報・データ等は厳重な管理のもと、研究終了まで保存されます。保管期間終了後には、専用ソフトを用いて復元不可能な状態で消去することで廃棄します。なお研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示いたしますので下記までご連絡ください。</p>
<p>本研究の資金源 (利益相反)</p>	<p>本研究に関連し、開示すべき利益相反はありません。</p>
<p>お問い合わせ先</p>	<p>T E L : 0742-24-1251 担当者：穴井 洋 (放射線科)</p>
<p>備 考</p>	